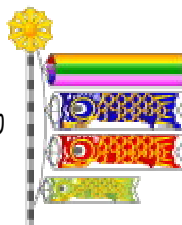




やわらぎ会通信 Vol.66

新緑のエネルギー

葉桜の黄緑色は、あっという間に濃い緑に変わり、空の青にくっきりと映えています。季節の色は刻々と移り、私たちの目を楽しませてくれますね。梅雨入りの前に“ウーン”と身体を伸ばして緑のエネルギーを吸収しておきましょうか。



チョモランマの虹



やわらぎ会歯科診療所にお越しいただきありがとうございます

5月に入ってから、ますます日差しが強くなっていますが、スポーツには体が冷えないためよい季節といえます。

私の尊敬する三浦雄一郎氏のエベレスト挑戦も、中国のオリンピックの聖火の頂上アタックが成功したためいよいよ本番間近となりました。もともとは、チベット側のベースキャンプに4月11日頃到着して5月16日に登頂アタックの予定でしたが、変更して4月24日にネパール側のベースキャンプに着き、5月下旬頃に登頂アタックのようです。3月20日に日本を出発していますので随分のんびりとした行程になったようです。

私はこの機会にエベレストについて本やビデオ、DVDで勉強しました。それでわかったことは、西洋からやってくる人々には征服の対象としてのエベレスト(西洋社会が名付けた名前)であるが、地元のチベットやネパールに住む、シェルパ族(約500年前にチベット東部からネパール側に移住したエベレスト登山をサポートする人々)にとっては女神ミヨラサンマの住む聖地チョモランマ



女神ミヨラサンマ



三浦隊のみなさん

(チベット語で世界の母なる神)であり、この山に登ることは巡礼を意味するという事です。ですから、登山隊が登頂を開始する時はまず祭壇の前でプジャという儀式を行なう習わしになっています。山に対する畏敬の念をもって出発するわけです。今回、オリンピック聖火が頂上に登った日に、ベースキャンプからエベレストに架かる虹が見えたそうです。

これから登る人々への祝福なのかもしれません。私にとっては三浦氏がみんなの代表でチョモランマ(エベレスト)の山頂まで巡礼されているという意識でいます。無事を祈りつつ登頂の成功を見守りたいと思います。

理事長 藤田和也

Photoギャラリー



プジャの祭壇



ベースキャンプへの三浦氏



BCから見えるチョモランマ

写真提供
株ミウラ・ドルフィンズ



ペパーミント

最近は、いろいろな事件のせいもあって食品を買うときは必ず産地をチェックされる方は多いと思います。

私もそんな消費者の一人ですが、先日驚いたことがありました。

いつも行くスーパーに野菜や花の種が置かれていて、どちらも育てたことのない私は特に興味がなかったのですが、ある日何の気なしにこれらの産地ってどこなんだろう??と手にとって見たわけです。

すると、そこにはアメリカ、オーストラリア、デンマーク、タイ、等等。ねぎや貝割れ大根くらいはと思いましたがそれらも大半は外国産でした。

外国産だから味がどうか言う訳ではなく、ただ日本の自給率はこんなにも低いのかとなんだか悲しい気持ちになったのです。

国産だけで全日本人の食生活を賄うのは不可能なことなんですよ、きっと、、、。そう!! こだわっているのは食べていけないんです!

そんなことを言い聞かせながら、オーストラリア産牛肉を手取る超庶民の私なのでした。

歯科衛生士 加藤

同封していますレセプト(保険診療の明細)のコピーは、平成20年3月に診療をお受けになったものです。自由診療のみの方には同封されていません。

患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。 メールアドレス ya waragi@fujita.gr.jp

平成20年 5月20日号
編集発行人 藤田 和也